

日々の生活に役立つ！

インド法律コラム



インドの総合法律事務所 Ahlawat & Associates の弁護士 Tania と
ジャパデスク坂谷が外国人の方に有益な法律情報をご紹介します。



Q6

交通事故(加害者)についてのご相談:先日専属のインド人運転手が運転する車で外出した際、運転手の不注意で歩行者にぶつかって怪我をさせてしまいました。警察の調べによると、うちの運転手は飲酒運転をしていたようです。この場合、運転手だけでなく私も罰せられるのでしょうか。また、インドの飲酒運転に関する交通規則はどのようになっているのでしょうか。

回答:

近年、警察はアルコール検知器を使用し、様々な検問所で飲酒運転の取り締まりを強化し始めました。呼吸検査により、アルコール濃度30mg/100ml超が検出された場合、運転手は飲酒運転と判断され、罰金(Rs.2,000からRs.10,000)、禁固(6カ月から4年)の刑罰や免許剥奪となります。

そして、運転手によるそのような行為があった場合は、使用者も「使用者責任」に問われます。基本的にインドでは、運転手が起こした職務中の飲酒運転等の刑事責任について、使用者が責任を負うことになります。

飲酒運転を行った運転手の車にあなたが同乗していれば、あなたも所有者もしくは雇用主として責任を問われる可能性があります。死亡事故の場合はRs.50,000、後遺障害がある場合はRs.25,000が無過失責任として課されます。

解説:

まず、越境輸送事務所(RTO: Regional Transportation Office)にて認められた正当な自動車運転免許証を運転手が保有しているか確認して下さい。

次に、自動車登録書や保険、排気ガスチェックの書類が全て揃っているか確認しましょう。これらは所持していない場合

罰金が科されるので要注意です。

インドでは現在、グジャラート州、ビハール州、ナガランド州、ラクシャディープ諸島、そしてマニプル州の一部地域でお酒の購入が禁止されています。その他の州においてはお酒の購入は認められていますが、法的に許される飲酒最低年齢が各州で異なります。例えば、デリー首都圏では25歳、ゴアは18歳、チェンナイなら21歳です。

飲酒運転の罪で運転手が警察に捕まった場合、罰金支払いの為、警察が運転手にチャラン(この場合、反則切符のような伝票を指します)を手渡すか、もしくはCR(Criminal Record)ナンバーを伝えます。

チャランを持って指定された警察署に行くと、その後のプロセスを説明されます。状況によりますが、RTO(道路交通局)で免許証を受け取ったり、裁判所に行って罰金の支払いをするよう言われます。

万が一人身事故を引き起こした時場合は、「100番」で警察を、「102番」で救急車を呼びましょう。警察から報告書:FIR(First Hand Information Report)の写しを貰い忘れないようにして下さい。また、人身事故の場合は野次馬が加害者側を襲撃する可能性もありますので、身の危険を感じた場合には警察署など安全な場所に逃げ込むことも必要です。

この記事では特定の法律分野の基礎についてのみ説明しています。



Ahlawat & Associates は国内外の顧客にサービスを提供するインドの総合法律事務所です。当事務所のサービスはインドにおける海外直接投資からスタートアップ事業への支援など、多岐に渡ります。A&A は法的サービスへのアプローチに革命を起こすことを目指しており、顧客の事業に関する日常的な手続きだけでなく、会社設立の複雑な手続きも単純化します。ご質問・ご要望等がありましたらお気軽にご連絡ください。日本人担当者がご対応致します。

Delhi

📍 A-33, Lower Ground Floor,
Defence Colony, New Delhi - 110024

Mumbai

📍 1st Floor, Examiner Press Building,
35, Dalal Street, Fort, Mumbai - 400001

☎ +91 98109 07903 (坂谷・荻田)

✉ mami.sakatani@ahlawatassociates.in

🌐 <https://www.ahlawatassociates.com/>

インドの法律ならお任せ!
アフラワット法律事務所



AHLAWAT & ASSOCIATES
ADVOCATES